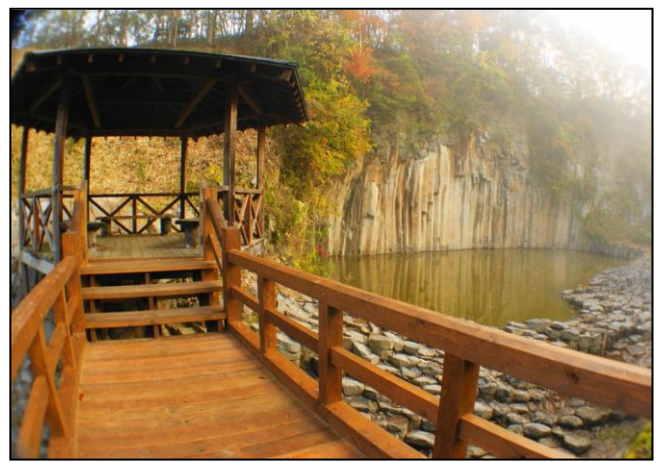


保存活用計画書

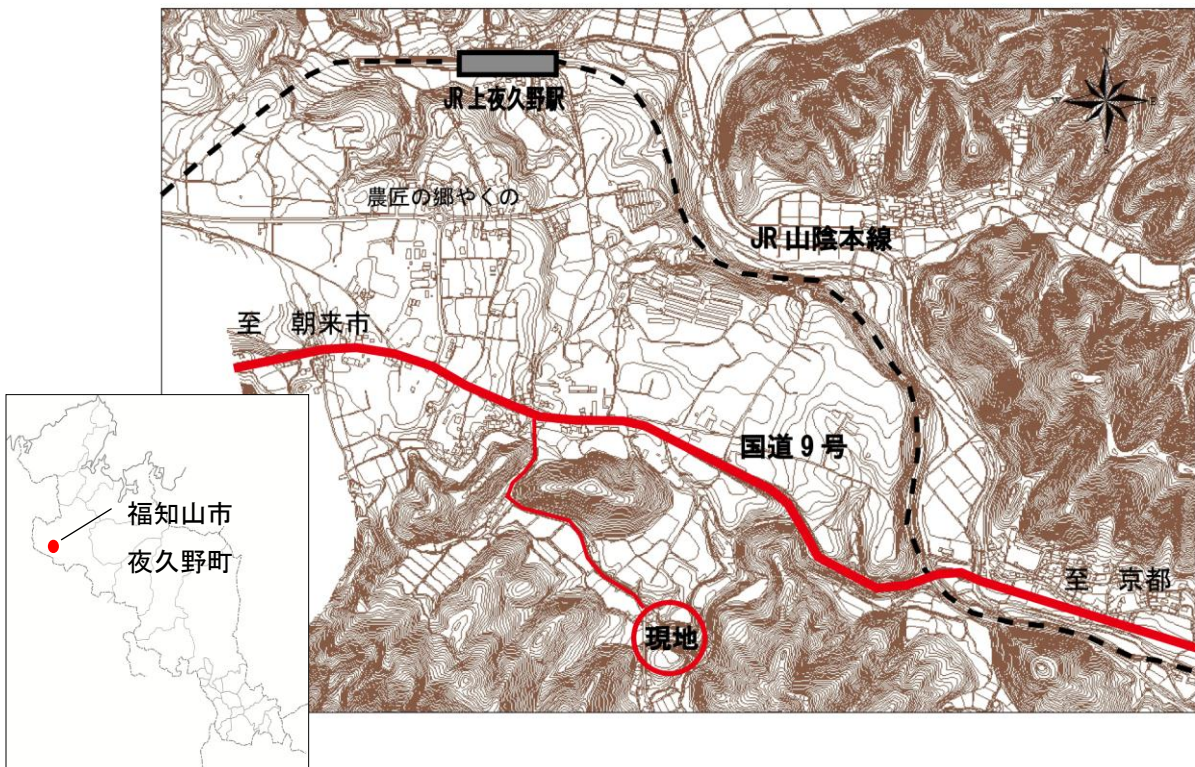
景観資産の名称	やくの玄武岩公園 ～小倉石切場跡の柱状・板状節理～
申請者	福知山市夜久野町小倉自治会

代表写真



1 位置及び範囲

【位置】



【登録範囲と範囲設定の考え方】

登録範囲は、地域の取り組みの拠点となる、やくの玄武岩公園の区域を基本とし、公園北側の柱状節理後背地（京都府指定文化財の区域）及びやくの玄武岩公園一帯が一望できる展望台までの散策路を含めた区域とします。

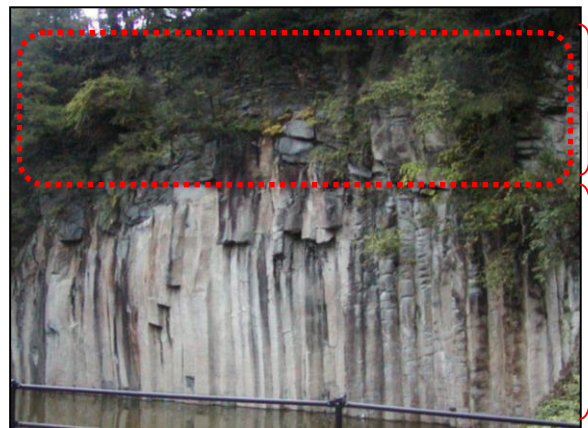


ちゅうじょうせつり

柱状節理：岩体に入った柱状の割れ目。マグマが冷却固結する際、収縮して生じ、マグマの冷却面と垂直に発達する。玄武岩では六角柱ができることが多い。

ばんじょうせつり

板状節理：マグマの冷却面と平行に発達する平らな板のような規則正しい割れ目。溶岩が流れるとき、地面との摩擦で止まろうとする外側と、流れ続けようとする内側との間で力が加わり割れることにより生じる。



板状節理

柱状節理

2 自然、歴史、文化等からみた景観特性

□ 景観資産の魅力

夜久野玄武岩の柱状節理・板状節理は、JR上夜久野駅南方約1.5kmに位置する小倉地区の「やくの玄武岩公園」周辺で見ることができます。やくの玄武岩公園は、地域の石材加工業を支えた採石場の跡地を活用して、平成3年度から整備を進めてきた公園です。

公園周辺の柱状節理は、京都府指定文化財（天然記念物）に指定されています。高さ15m前後、幅150mにわたって屏風のように切り立つ姿は雄大で、その下にある池の周りに散策路やあすまや等が整備され、桜10本を中心に様々な樹木が植樹されています。展望台からは恵まれた自然を背景に玄武岩公園一帯を一望することができます。

また、夜間は玄武岩がライトアップ*され、幻想的な空間を演出しています。

*ライトアップ 18:00から21:00まで



京都府指定文化財（天然記念物）指定域

□ 自然的特性

福知山市夜久野町には、京都府唯一の火山である田倉山があります。田倉山は綺麗な円錐形をしていることから宝山とも言われ、直径1km、標高差約140mの山容を望むことができます。田倉山のある夜久野高原は、火山噴火の際に流出した溶岩が冷え固まって形づくられた溶岩台地です。

田倉山は、今から約38万年～30万年前にかけて少なくとも3回噴火しており、最初に噴出した小倉溶岩（約38.4万年～35万年前）が、小倉付近の溶岩台地をつくりました。田倉山の山体は3回目の噴火のときに作られたと推定されています。

やくの玄武岩公園の柱状節理・板状節理は、最初に噴出した小倉溶岩のもので、柱状節理とは、熱い溶岩が冷え固まるときにできる冷却割れ目です。ゆっくり冷えた部分は冷却面（溶岩流の表面）に対して垂直な柱状になり、大気に触れる溶岩最上部は急速に冷やされて板状の割れ目（板状節理）ができます。やくの玄武岩公園には最上部に厚さ数mの板状節理があり、その下が高さ15m前後、一辺40～50cmの六角形の柱状節理になっています。



公園北側の柱状節理・板状節理



公園南側の柱状節理・板状節理

また、市道岡野線より南側の区域においても柱状節理及び板状節理が広がっており、さらに本区域では、岩質及び地層構造から、火山活動による溶岩の流出状況を見ることができます。

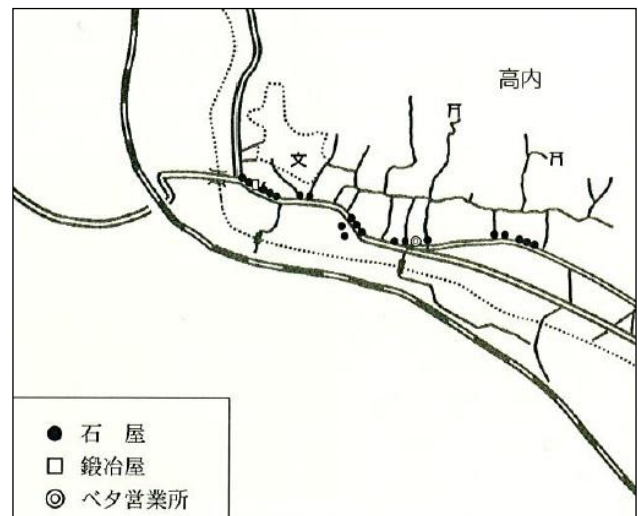
このように、やくの玄武岩公園周辺は、京都府唯一の火山により形成された溶岩台地である夜久野高原の地質学的特色を如実に観察できる玄武岩露頭として、きわめて価値が高く貴重な場所です。

□ 歴史・文化的特性

夜久野地域の産業の1つである玄武岩の石材加工業は、やくの玄武岩公園（小倉）の東に位置する高内地域において、江戸時代の文政期（1818～1829年）に始まり、明治20年頃から大いに発展しました。

夜久野の高内は、石屋のある村として近隣に知られており、最盛期の明治40年頃には30軒もの石屋がありました。戦後の昭和30～35年頃にかけても24軒ありましたが、その後大きく減少し、現在では、石材加工業を営むのは4軒のみとなりました。

高内の石屋の沿革は、文政初年（1818年）、和泉国泉南郡下荘村大字貝掛の住人、久堀幸佐エ門が城崎へ湯治に向かう途中、当地を通った際、玄武岩の見事な露頭を見て、これを加工して世に広めたいと思い立ったことから始まります。久堀は村入りを願いましたが他所の者は入れないという村決めがあったため、名主の分家の跡継ぎとして入籍し、郷里から弟子職人など10数人を呼び寄せて石材加工を始めました。その後、久堀は、福知山藩家老市川儀右エ門の愛顧を受け、石工関係の土地権利を得ました。「久堀一家以外は石屋を開業すること能わず」というほどの勢力を持ったようです。



※1 石屋分布図（昭和30～35年頃）



※2 石屋分布図（平成15年頃）

なお、この地域の玄武岩は「高内石」と呼ばれ、粒子が細かく柔らかいのが特徴で石碑や石塔に適しており、三河の岡崎石、四国のアジ石、六甲山麓の御影石に次ぐ石材であるとも言われていました。高内の石屋には、福知山や和田山などから弟子が修行に来ていたようで、従来より約60戸（200人程度）で推移していた村に、地元を含めてではありますが30～40人ほどの弟子がいたようです。加工品の販路は遠くにまで及び、夜久野、福知山、そして舞鶴や兵庫県氷上郡方面にも送られていました。

やくの玄武岩公園となっている場所（小倉）が採石場となったのは、明治44年の旧国

鉄山陰線開業等の事情により採石場が高内地域の西側に位置する小倉方面に変遷していく時期です。採石場は石工組合が地主から土地ごと購入して採掘する権利を得て、昭和40年代前半まで長らく石切場として使用されました。小倉は、夜久野地域最後の石切場です。柱状節理が立ち並び、手前に大きな岩塊が散在しているさまは、往時の石切現場を髣髴させます。このように、やくの玄武岩公園は、恵まれた自然と夜久野地域の石材加工業の発展に伴う人々の生活・営みによって形成された歴史的景観地であり、文化的景観の要素を持っています。



※3 小倉石切場



※4 高内の石屋（昭和43年11月）

【挿図出典】（※1～4）夜久野町史:第1巻（自然科学・民俗編） 夜久野町編（2005.2）

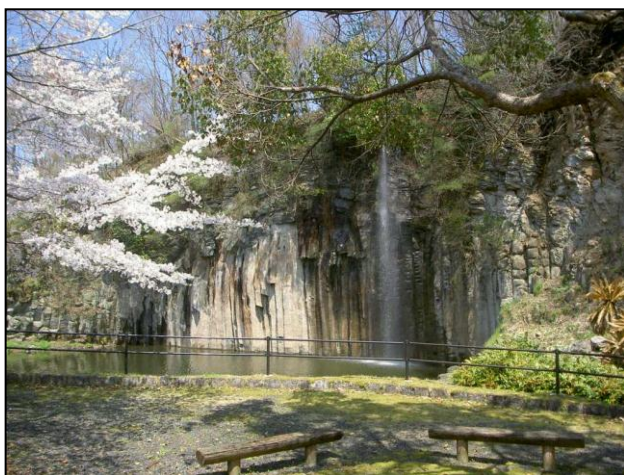
□ 周辺環境との関係

やくの玄武岩公園は、平成3年度から公園化に向けた整備事業が行われ、散策路や展望台、人工滝などが整備されました。

人工滝は、平成15年度に整備され、一時運転を休止していましたが、平成24年4月に運転*を再開しました。春には玄武岩と滝、桜が織りなす景色が人々を楽しませています。

今後は、観光資源の充実と既存公園のスケールアップを行うため、福知山市による整備の拡充が計画されています。

※滝の運転 11:00から14:00まで、17:00から18:00まで



玄武岩と滝、桜が織りなす景色



展望台より

3 景観の保存、育成及び創造に関する事項

□景観づくりの目標像

やくの玄武岩公園を地域活動の舞台として、自治会だけでなく様々な主体と連携しながら活用し、地域の魅力を発信するとともに地域の活力を高めます。

また、夜久野地域の観光・交流拠点である「農匠の郷やくの」と連携して、新たな観光客の誘致を目指します。

□法律や条例などによる景観上の規制誘導事項

京都府指定文化財（天然記念物）に指定された「夜久野玄武岩柱状節理」は、京都府文化財保護条例により保護されています。

また、本地区は都市計画区域外であるため、建築行為に関する規制はありませんが、福知山市の公園として管理されています。

□景観づくりの取組

[現 状]

○やくの玄武岩公園の清掃活動

福知山市と公園の維持管理契約を締結し、小倉自治会の構成団体である「小倉幸福会（老人会）」が、公園内の芝刈り、落ち葉の掃除、垣根や樹木の管理、トイレの清掃などを実施しており、美しいやくの玄武岩公園の維持に努めています。

○夜間のライトアップ

夜には玄武岩がライトアップされ、幻想的な雰囲気醸し出しています。



小倉幸福会の清掃活動



ライトアップの様子

[課 題]

○地域住民の高齢化に伴って、清掃活動の持続的な取り組みが困難になることが危惧されます。

○太古に形成された玄武岩が、後に夜久野地域の産業を支えた歴史や文化を伝える貴重な資産として、現在も小倉に残されていることを住民自らが改めて認識し、先人たちが築いた美しい景観に誇りを持って次代に引き継いでいけるように、さらに住民意識を高める必要があります。

○旧夜久野町時代に設置した人工滝は、公園のくぼみにたまった水をポンプでくみ上げて放水し、高さ約18メートルの滝を作り出す装置で、平成17年まで運転していましたが、設備が故障して以来、休止していました。しかし、自然が形成した独特の景観に彩りを加え、観光振興や地域活性化に生かそうと、福知山市が規模を大きくして全面改修し、平成24年4月から運転を再開しました。柱状節理の絶壁上から流れ落ちる滝は壮大ですが、人工滝の設備である送水管や貯水槽が露出しているため、景観向上に向けて何らかの配慮が必要です。

○市営バスのバス停、公園案内板、照明機器の箱等の色が目立つため、彩度を落とすなどして周囲の景観に調和させる必要があります。

○展望台から公園を眺望する際、周辺の建物等の色が目立つため、景観向上に向けて何らかの配慮が必要です。

〔解決のためのアイデア〕

○清掃活動など、やくの玄武岩公園を美しく維持していく取り組みに、地域の若者や訪れる人々が楽しみながら積極的に参加できるような仕組みを考えていきます。

○現在、地元の小学校等をはじめとして、市内・市外の小中学校、さらには大学など、多くの団体がやくの玄武岩公園に見学・視察に来ていただいておりますが、今後もさらに課外授業、環境学習の場として活用してもらえよう、特に地元の小学校等に呼びかけることにより、景観資産・やくの玄武岩公園の魅力を知ってもらい、次代を担う子どもたちの郷土愛を育むことにつなげていきたいと考えています。

○福知山市で予定されている公園整備の拡充は、景観に十分配慮した計画にさせていただくとともに、露出している人工滝の送水管や貯水槽、市営バスのバス停、公園案内板、照明機器の箱等についても、周囲の景観に調和した色彩になるよう、可能な限り対応していただくよう要望していきます。

○恵まれた自然を背景に玄武岩公園一帯を一望することができる展望台までの遊歩道を整備し、より多くの方に美しい景観を楽しんでもらえよう、魅力ある景観形成に向けて福知山市とともに取り組んでいきたいと考えています。



人工滝の様子

○公園周辺の建物等について、将来的な維持管理にあわせて壁面等を景観に調和した色彩にさせていただくよう呼びかけていきたいと考えています。

4 景観を活かしたまちづくりへの展開に関する事項

□景観を活かしたまちづくり活動

〔現 状〕

○地域を活性化させるイベントの開催

やくの玄武岩公園一帯で柱状節理を背景に、和太鼓、クラシック等といった様々なジャンルの音楽を演奏するイベント「GEN-BU-ROCK SOUND CROSS」を、夜久野町で地域活性化イベント等を行っている「ときめき会」が主催（主催：ときめき会 共催：小倉自治会ほか）となり、平成24年から開催しています。（第1回：平成24年3月25日、第2回：平成24年11月24日）

第2回目は、当日朝に「玄武岩公園クリーン大作戦」と題して公園一帯の大掃除を行った後、夕方から「ステージプログラム」として音楽演奏イベントを行い、やくの玄武岩公園の自然舞台でひとときのたおやかな時間を共有することができました。

小倉自治会においても、イベントを盛り上げるため、模擬店を出店し、小倉汁（豚汁）を販売しました。このイベントを通じて、地域内外の交流を促進し、四季折々の表情を持つ夜久野地域の魅力を多くの人々に発信しています。



GEN-BU-ROCK SOUND CROSS

○小倉自治会主催の花見

毎年春には、満開の桜のもと、地域住民が集って花見をすることが恒例になっており、小倉に住む多世代の住民が交流を深め、コミュニティを活性化しています。

○中夜久野美化運動

毎年秋には、夜久野地域への愛着と住民の美化意識の向上、ゴミのないまちづくりを目指して、中夜久野の住民や地元の小学生などによる公園の清掃美化作業が行われています。（主催：中夜久野地区公民館）



小倉自治会の花見



中夜久野美化運動

〔課題〕

○「GEN-BU-ROCK SOUND CROSS」をはじめとする地域を活性化させるイベントが、今後も継続した取り組みとなるよう、主催者との連携と協力体制の強化を図る必要があります。

○やくの玄武岩公園へは、夜久野バス「板生・千原線」でJR上夜久野駅から約8分、JR下夜久野駅から約16分と大変便利ですが、便数に限りがあります。

また、自家用車等であれば夜久野地域を横断する国道9号からのアクセスが可能ですが、やくの玄武岩公園が国道9号から南側に少し外れた所に位置していることから、訪れる観光客にとって場所がやや分かりにくくなっています。

○公園内に市道岡野線が走っており、東側駐車場や展望台からあすまや方面へ渡る際の横断歩道や公園南側の玄武岩を観察するための歩道がなく危険であるため、安全対策が必要です。

〔景観を活かしたまちづくり活動のアイデア〕

○「GEN-BU-ROCK SOUND CROSS」が、今後も継続した取組となるよう、小倉自治会としても催し物に工夫を重ねるなど、主催者と連携、協力体制の強化を図っていきます。

○やくの玄武岩公園の四季折々の姿や地域活性化イベントをはじめとする様々な取り組みの状況など、地域の魅力を広くPRするために、インターネットなどの情報ツールを活用し、全国に情報を発信する方法を考えていきます。

○夜久野地域の観光・交流拠点である「農匠の郷やくの」と連携し、やくの玄武岩公園を地域の観光ルートに組み込むなど、新たな観光客の誘致を目指します。

○地場産の新鮮な野菜の販売や玄武岩をテーマにした「ご当地グッズ」の開発など、地域の経済活動が循環するような仕組みづくりを考えていきます。

○やくの玄武岩公園を訪れた方が安心して公園内を散策してもらえるように、福知山市や警察等に横断歩道、歩道の設置や車のスピード規制を要望するなど、安全対策を検討していきます。

○見学に来た子ども達が玄武岩に直接触れることができるような安全に管理されたふれあい体験スペースの設置を検討していきます。

5 その他必要な事項

□提案団体の概要

■ 組織名称

小倉自治会

役員数：10名

自治会人数：約180名

小倉幸福会：小倉自治会の老人会 約50名

■ 景観資産の登録範囲における団体の活動

- やくの玄武岩公園の日常管理（清掃活動）
- 自治会主催の花見
- 地域活性化イベントへの協力
- 中夜久野美化運動への参加

□提案までの検討経過

- 平成24年7月20日 小倉自治会、京都府、福知山市が集まり、景観資産登録制度について協議する。
- 平成24年9月27日 小倉自治会、福知山市が集まり、保存活用計画書の作成について協議する。
- 平成24年11月27日 景観資産登録提案書及び保存活用計画書を提出する。
- 平成25年1月8日 第16回京都府景観審議会において、予備登録となる。
- 平成25年3月19日 小倉自治会、京都府、福知山市が集まり、登録に向けての課題及び今後のスケジュールについて協議する。
- 平成25年6月18日 小倉自治会、福知山市が集まり、保存活用計画書の作成について協議する。
- 平成25年6月25日 小倉自治会、福知山市が集まり、保存活用計画書の作成について協議する。
- 平成25年9月28日 京都府景観アドバイザー 門内輝行氏を招いて、京都府、福知山市とともに学習会を行う。